

白馬村民 Vol.03 フォーラム通信

2003/8/11発行

■発行：
白馬村民フォーラム（代表：渡邊俊夫）
■事務局&連絡先：
白馬村民フォーラム実行委員会
北城12958-1-1/尾川耕
Tel:72-7460 Fax:72-7465
e-mail:tagayasu@hakuba.jp

ご報告

第3回フォーラムのテーマ 「美しい村に住みたい！」

開催日時： 6月16日（月）／19：00～21：00
場 所： ふれあいセンター2F 「学習室」
参加人数： 10名（白馬村10名）
メディア： 信濃毎日新聞、大糸タイムス

「環境保全と開発のきまり」「白馬村の景観形成」「屋外広告物のしおり」「白馬村まちづくり環境色彩計画」以上4つの景観に関わる村の条例・規則・指針の説明を村担当者より受け、また、5月に行った村内居住者及び村外よりの訪問者を対象としたアンケートの結果を踏まえて、限られた時間での真剣な論議がなされました。

下記のように、提言として纏めましたので今後の行政運営の参考にさせていただければ幸いです。

～提言～

■村の美しさの原点は「山に見える風景」である

山々の美しさを損なうことのない社会・経済活動が求められる。即ち、住民の活動が作り出すものが、村が持つこの固有の風景に溶け込むようでありたい。

■個々の住民が風景の公共性を理解し、 “白馬らしさ”の美化・保全に努める

どのような風景を造っていくべきかを、すべての村民が積極的に考え行動する必要がある。物まねでない“白馬らしさ”とは何か、を皆で確認し合いたい。

■皆で決めた規則は皆で守る

機能していない規則は意味がない。“私たちの”“私たちのための”規則であることの認識を、景観に対する住民の意識高揚と共に進める必要がある。また、公募などによる開かれた委員会が、規則の運営を監査するなど皆が積極的に参加できようになりたい。

2003年6月26日
白馬村民フォーラム
代表 渡邊俊夫

この提言書は以下のように関係者に届けました。
・福島白馬村長：村長室にて手渡しました（6/26）

又、同時に<設置できないと思われる広告物>の規制に対する「質問書」を渡しました。後日、村役場総務課から文面で「所有者に口答→文章→条例に元づく処分を行なう」という主旨の回答がありました。

開催要項

第3回 テーマ： 「白馬でできる自然エネルギーの研究&実践は？」

地球環境問題を解決して行く為に、環境に負荷が極力少ない、また、再生可能なエネルギーの利用が求められています。私達のエネルギー消費を見つめ直し、家庭で地域としてどのような活動が可能か話し合ってみませんか？

開催日： 8月18日（月）
日時： 19：00～21：00
場所： ふれあいセンター2F 「学習室」（白馬村役場東側）

参加資格： テーマに興味がある方ならどなたでも、年齢・性別・在住地・国籍等に関わらず参加できます。（但し、日本語のみでのフォーラムです）

参加定員： 会場準備の都合により、参加希望者はできるだけ事前にご連絡お願い致します。（当日参加可能）

参加費： 300円（資料作成費等の経費に充てています）
フォーラム開催日以前に、詳しい資料をご覧になりたい方は、ホームページをご覧ください。

●資料提供者
・村民フォーラム実行委員会（データ集計）

今後のテーマ予定

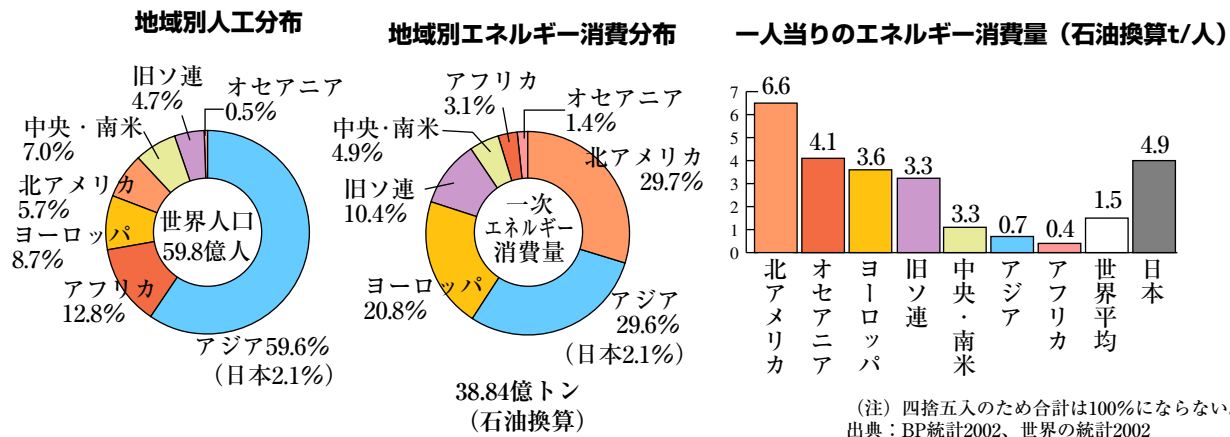
・第4回テーマ「白馬の農林業の今、そして未来は？」 10月20日（月）

農業と林業は、生活基盤そのものです。その健全なる維持は私たちに課せられた義務です。現状をしっかりと把握し、白馬村での農林業のあり方、そして未来を語り合いたい。

・第5回以降のテーマ 募集中!! 偶数月第3月曜日開催

世界・日本のエネルギー消費

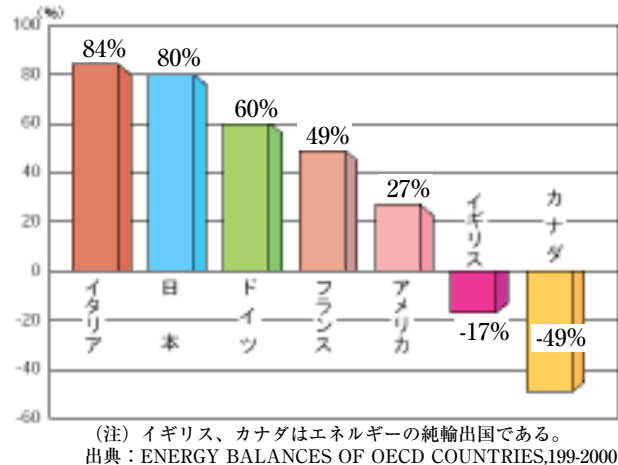
世界の人口とエネルギー消費量 (1999年)



『世界人口100億人の2050年を想定すると地球温暖化を抑制して持続可能なエネルギー消費量は世界人口一人当たり1kw/人が限度である。ちなみに1994年における全世界平均の一次エネルギー消費量は約1.9kw/人で、開発途上国では0.5kw/人、中進国で2kw/人、先進国で6kw/人である。世界の現状はもうこの1kw/人の限度を超えているが、発展途上国には限度まで発展する権利があるので世界中が2050年までに等しく持続可能な限度ぎりぎりな状態に至る道程として2030年で開発途上国は1kwまでの成長、中進国では2kwの維持、先進国では4kwへの削減、そして2050年以降に世界等しく(1+a)kwを目標にすべし』。※1

日本の1kw/人の時期は昭和30年代前半、2kw/人は昭和40年、4kw/

主要国のエネルギー輸入依存度 (2000年)



人は昭和40年後半であった(1995年で5.75kw/人)。(1+a)kw社会を如何に実現するか？

※1…電力中央研究所主催「トリレンマシンポジウム」(1999)での(1+a)kw社会の提起より。

白馬村内のエネルギー消費

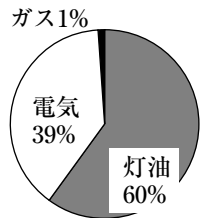
主な年間消費エネルギー量

	単位	万kcal	カロリー換算
電気	109,902 MWh	9,451,572	1kWh=860kcal
ガス	1,369 ton	164,280	1ton=500立方m 1kg=1200kcal
灯油	16,370 kL	14,569,300	1L=8900kcal
合計		24,185,152	

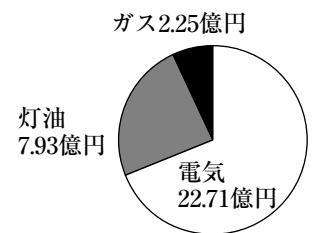
電気…中部電力
ガス…LPガス協会(周辺市町村への供給若干量を含む)
灯油…村内供給業者による推計値
※自動車のガソリン等のエネルギー消費量は十分な調査が出来ませんでした。

上記の表の作成に当たり、資料を提供いただきました関係各位に厚くお礼申し上げます。

カロリーベースの割合



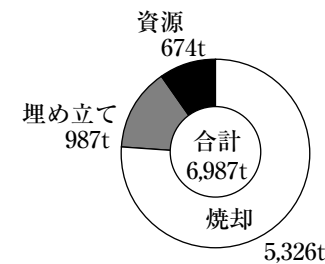
金額ベースの割合



白馬村内のエネルギー資源

生ゴミ

村内で発生する生ゴミをバイオガス化し、エネルギー源として利用した場合の推計。



年間総発生可能kcal =
焼却 × 12.4% (厨芥ゴミ比率) × 580kwh × 860

※生ゴミのバイオガス化によるエネルギー発生量をトン当たり580kwhとした

329,417,636kcal

発生電力を金額に換算すると**7,917,515円**になります。

木質エネルギー

材積	材重量	ペレット化後	カロリー換算	残存年数
986,847 m ³	592,108 t	383,686 t	180,332,473 万kcal	7.30 年

※材積については、白馬村産業課、大北森林組合、またペレット化については下伊那森林組合に資料提供を受けた

水力・風力・その他

現在、近隣市町村では、水路を利用したミニ水力発電や風力発電、天ぷら油等の廃油と菜の花からバイオディーゼル(軽油)の研究に取り組む市民グループもあります。